

年齢階級別退院患者数

年齢区分	0～	10～	20～	30～	40～	50～	60～	70～	80～	90～
患者数	－	21	101	118	185	211	400	580	696	243

60歳以上の患者の割合が7割を占め、地域社会の高齢化を反映しています

診断群分類別患者数等（診療科別患者数上位 5 位まで）

内科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均 在院 日数 (自院)	平均 在院 日数 (全国)	転院 率	平均 年齢	患者 用パス
060100xx01xx0x	小腸大腸の良性疾患【内視鏡的大腸ポリープ・粘膜切除術を伴うもの】	68	2.82	2.67	0	63.53	
170020xxxxxx0x	精神作用物質使用による精神および行動の障害	56	1.3	2.78	0	31.52	
060340xx03x00x	胆管（肝内外）結石、胆管炎【内視鏡的胆道ステント留置術を伴うもの】	48	9.58	10.08	0	79.4	
040081xx99x00x	誤嚥性肺炎【特別な手術・処置を伴わないもの】	43	29.63	20.92	4.65	83.81	
060130xx99000x	食道、胃、十二指腸、他腸の炎症(その他良性疾患) 【特別な手術・処置を伴わないもの】	39	6.54	7.4	2.56	66.77	

内科的疾患の全般を担っています。誤嚥性肺炎は平均年齢が84歳と高齢の患者の治療を行っています

循環器科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均 在院 日数 (自院)	平均 在院 日数 (全国)	転院 率	平均 年齢	患者 用パス
050050xx99100x	狭心症、慢性虚血性疾患【心臓カテーテル法による諸検査を伴うもの】	22	2.27	3.01	0	70.64	
050210xx97000x	徐脈性不整脈【ペースメーカー交換を伴うもの】	20	9.3	11.01	0	79.5	
050050xx02000x	狭心症、慢性虚血性心疾患【経皮的冠動脈ステント留置術等を伴うもの】	18	5.11	4.47	0	70.89	
050130xx99000x	心不全【特別な手術・処置を伴わないもの】	12	23.25	17.66	0	83.08	
050070xx99000x	徐脈性不整脈【特別な手術・処置を伴わないもの】	—	—	7.54	—	—	

心臓疾患の患者を主に担当している循環器科では、

狭心症診断を行うための心臓カテーテル検査や経皮的冠動脈ステント留置術を行っています

外科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均 在院 日数 (自院)	平均 在院 日数 (全国)	転院 率	平均 年齢	患者 用パス
060035xx99x60x	結腸（虫垂を含む。）の悪性腫瘍【化学療法、ペバシズマブ使用】	21	3	4.41	0	64.81	
060040xx99x60x	直腸肛門（直腸S状部から肛門）の悪性腫瘍【化学療法、ペバシズマブ使用】	14	3	4.33	0	75.14	
060241xx97xxxx	痔核【痔核手術を伴うもの】	14	5	5.78	0	50.93	
060040xx99x70x	直腸肛門（直腸S状部から肛門）の悪性腫瘍【化学療法、パニツムマブ使用】	13	2	4.8	0	71.77	
060160x001xxxx	鼠経ヘルニア（15歳以上）【ヘルニア手術を伴うもの】	13	5.46	4.96	0	64.46	

外科では主に胃癌、大腸癌などの悪性腫瘍に対する集学的治療（手術療法、化学療法など）を行っています。良性疾患では痔疾患、胆石症、鼠経ヘルニアなどの手術を行っています

整形外科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均 在院 日数 (自院)	平均 在院 日数 (全国)	転院 率	平均 年齢	患者 用パス
160800xx01xxxx	股関節・大腿近位の骨折【人工骨頭を挿入するもの、骨折観血的手術を伴うもの】	99	60.84	26.3	10.1	84.18	
160690xx99xx0x	胸椎、腰椎以下骨折損傷（胸、腰髄損傷を含む。）【特別な手術・処置を伴わないもの】	65	50.12	19.61	6.15	78.08	
160760xx97xxxx	前腕の骨折【骨折観血的手術を伴うもの】	31	7.77	5.68	0	64.81	
160700xx97xx0x	鎖骨・肩甲骨の骨折【骨折観血的手術を伴うもの】	25	5.76	6.07	0	58.04	
160980xx99x0xx	骨盤損傷【特別な手術・処置を伴わないもの】	18	49.44	19.32	11.1	78.44	

整形外科の入院患者の特徴は高齢者の大腿骨近位端骨折や脊椎椎体骨折等の骨脆弱性骨折が多くなっています

形成外科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均 在院 日数 (自院)	平均 在院 日数 (全国)	転院 率	平均 年齢	患者 用パス
160200xx0200xx	顔面損傷（口腔、咽頭損傷を含む。）【鼻骨骨折整復固定術等を伴うもの】	—	—	5.37	—	—	
080010xxxx0xxx	膿皮症【特別な手術・処置を伴わないもの】	—	—	12.51	—	—	
160200xx9700xx	顔面損傷（口腔、咽頭損傷を含む。）【創傷処理等を伴うもの】	—	—	5.36	—	—	
070010xx970xxx	骨軟部の良性腫瘍（脊椎脊髄を除く。）【皮膚・皮下腫瘍摘出術を伴うもの】	—	—	4.86	—	—	
080250xx9701xx	褥瘡潰瘍【皮膚切開術等を伴うもの】	—	—	46.13	—	—	

形成外科は顔面骨骨折や体表面全般の手術を行っています

脳神経外科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均 在院 日数 (自院)	平均 在院 日数 (全国)	転院 率	平均 年齢	患者 用パス
010060×2990401	脳梗塞（脳卒中発症3日以内、かつ、JCS10未満）【エダラボン使用発症前Rankin Scale0、1又は2】	45	26.53	16.18	6.67	65.9	
010040x099000x	非外傷性頭蓋内血腫（非外傷性硬膜下血腫以外）（JCS10未満）【特別な手術・処置を伴わないもの】	36	61.42	18.72	16.7	62.9	
160100xx99x00x	頭蓋・頭蓋内損傷【特別な手術・処置を伴わないもの】	27	6.41	7.35	0	65.9	
010230xx99x00x	てんかん【特別な手術・処置を伴わないもの】	18	8.39	7.28	5.56	62.7	
010040x199x00x	非外傷性頭蓋内血腫（非外傷性硬膜下血腫以外）（JCS10以上）【特別な手術・処置を伴わないもの】	13	50.46	21.23	53.9	71.5	

脳神経外科では脳梗塞、脳出血、くも膜下出血、頭部外傷などの脳の救急疾患を主に治療しています。急性期の治療後は同一施設内の回復期リハビリテーション病棟に転棟しリハビリが継続可能です。くも膜下出血予防のため、未破裂脳動脈瘤入院も増えています

※患者数には急性期病棟から回復期リハビリテーション病棟に移り退院した患者数は含まれておりません

※2018年の脳梗塞患者数は199人、脳出血は99人、くも膜下出血は18人でした

眼科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均 在院 日数 (自院)	平均 在院 日数 (全国)	転院 率	平均 年齢	患者 用パス
020110xx97xxx0	白内障、水晶体の疾患【水晶体 再建術を伴うもの】片眼	36	3.31	2.84	0	75.72	
020110xx97xxx1	白内障、水晶体の疾患【水晶体 再建術を伴うもの】両眼	—	—	5.39	—	—	
020200xx9710xx	黄斑、後極変性【硝子体手術、 水晶体再建術を伴うもの】	—	—	7.05	—	—	
020240xx97xxx0	硝子体疾患【硝子体手術、水晶体 再建術を伴うもの】	—	—	6.16	—	—	
020200xx9700xx	黄斑、後極変性【硝子体手術を 伴うもの】	—	—	6.55	—	—	

眼科の入院は、ほぼ手術目的です。眼科で最も多いのは白内障手術目的での入院となります

泌尿器科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均 在院 日数 (自院)	平均 在院 日数 (全国)	転院 率	平均 年齢	患者 用パス
110320xx99xxxx	腎、泌尿器の疾患【特別な手 術・処置を伴わないもの】	—	—	9.29	—	—	

初発の5大癌のUICC病期分類別並びに再発患者数

	初発					再発	病期分類 基準 (※)	版数
	Stage I	Stage II	Stage III	Stage IV	不明			
胃癌	—	—	—	—	—	14	1	7,8
大腸癌	—	—	—	—	—	97	1	7,8
乳癌	—	—	—	—	—	—	1	
肺癌	—	—	—	—	—	—	1	7,8
肝癌	—	—	—	—	—	23	1	7

※ 1：UICC TNM分類, 2：癌取り扱い規約

再発には他施設で治療された後、当院にて治療された患者を含み、繰り返し入院された場合はその回数を患者数としています

5大癌のうち、当院での治療は胃癌、大腸癌、肝癌がほとんどです。胃癌、大腸癌は主に外科が、肝癌は主に内科が治療を行っています。尚、手術後の補助化学療法はすべて再発症例に含まれますので、再発症例が多い結果となっています

成人市中肺炎の重症度別患者数等

重症度	患者数	平均在院日数	平均年齢
軽症	15	9.13	47.2
中等症	70	24.71	83.64
重症	16	36.5	88.19
超重症	－	－	－
不明	－	－	－

20歳以上で発症した肺炎を対象にしており誤嚥性肺炎は対象外です

重症度が中等症以上では平均年齢が80歳を超え平均在院日数が長くなる
ことがあります、抗菌剤の適正な選択を行っています

脳梗塞の患者数等

発症日から	患者数	平均在院日数	平均年齢	転院率
3日以内	150	56.29	71.46	9.38
その他	10	89.3	73.8	0

脳梗塞の患者が入院された時点で、発症から3日以内かその他かを示す指標です

脳梗塞の症例では、発症日から3日以内の急性期脳梗塞が多くなっています。脳梗塞急性期にはt-PA静脈療法に代表される内科的治療やカテーテル治療（血栓回収術や頸動脈ステント留置術）などを行っています。ケアミックス病院の特徴を生かし、平均20日程度の急性期の治療後引き続いて回復期病棟でリハビリを行っています。入院日数が長く、転院率が低いのは自院で一貫した治療とリハビリを行っているからです

診療科別主要手術別患者数等（診療科別患者数上位 5 位まで）

内科

Kコード	名称	患者数	平均 術前 日数	平均 術後 日数	転院 率	平均 年齢	患者 用パス
K7211	内視鏡的大腸ポリープ・粘膜切除術（直径2cm未満）	71	0.75	1.77	0	64.41	
K688	内視鏡的胆道ステント留置術	48	2.1	37.56	6.25	79.58	
K6152	血管塞栓術（頭部、胸腔、腹腔内血管等）（選択的動脈化学塞栓術）	18	1	7.33	0	72.89	
K654	内視鏡的消化管止血術	17	0.65	10.24	11.76	66.53	
K6872	内視鏡的乳頭切開術（胆道砕石術を伴う）	12	4	6.08	0	82.92	

内科では大腸ポリープや大腸腫瘍に対する内視鏡的ポリープ・粘膜切除術を最も多く行っています。また、胆管炎や胆嚢炎の患者に対し、胆汁の流れをよくする内視鏡的胆道ステント留置術や乳頭切開術を行っています。内視鏡的胆道系手術は高齢者にも行っています

循環器科

Kコード	名称	患者数	平均 術前 日数	平均 術後 日数	転院 率	平均 年齢	患者 用パス
K5493	経皮的冠動脈ステント留置術（その他）	20	1.8	5.2	0	71.8	
K597-2	ペースメーカー交換術	15	0.93	7.2	0	77	
K5972	ペースメーカー移植術（経静脈電極）	—	—	—	—	—	
K5492	経皮的冠動脈ステント留置術（不安定狭心症）	—	—	—	—	—	
K5951	経皮的カテーテル心筋焼灼術（心房中隔穿刺、心外膜アプローチ）	—	—	—	—	—	

狭心症、心筋梗塞の患者へ経皮的冠動脈ステント留置術や経皮的冠動脈形成術といった心臓カテーテル治療を行っています。また徐脈性不整脈に対してペースメーカーの移植術を行い、頻脈性不整脈に対しては、アブレーションを行っています

外科

Kコード	名称	患者数	平均 術前 日数	平均 術後 日数	転院 率	平均 年齢	患者 用パス
K7434	痔核手術（脱肛を含む）（根治手術）	15	1	3	0	52.93	－
K6335	鼠経ヘルニア手術	14	0.93	3.79	0	65.21	－
K6182	中心静脈注射用植込型カテーテル設置（頭頸部 その他）	－	－	－	－	－	－
K672	胆嚢摘出術	－	－	－	－	－	－
K7421イ	直腸脱手術（経会陰によるもの）（腸管切除を 伴わないもの）	－	－	－	－	－	－

外科では痔核手術、ヘルニア手術、胆嚢炎や胆石症などの胆嚢疾患に対して胆嚢摘出術を行っています。胆嚢摘出術は腹腔鏡下で試行されることが多く、手術に対する患者の負担をできるだけ小さくするよう努めています

整形外科

Kコード	名称	患者数	平均 術前 日数	平均 術後 日数	転院 率	平均 年齢	患者 用パス
K0461	骨折観血的手術（肩甲骨，上腕，大腿）	101	4.08	57.44	9.9	82.57	－
K0811	人工骨頭挿入術（肩，股）	47	2.47	63.64	12.77	81.79	－
K0462	骨折観血的手術（前腕，下腿，手舟状骨）	37	2.57	25	0	60.81	－
K0463	骨折観血的手術（鎖骨，膝蓋骨，手（舟状骨を 除く），足，指（手，足）その他）	26	1.38	16.08	0	59.5	－
K0483	骨内異物（挿入物を含む）除去術（前腕，下 腿）	24	0.92	2.71	0	55.13	－

手術に関しては高齢者の大腿骨近位端骨折や上腕骨折に対する手術が多くなっています。当院は総合病院であるため、術後の合併症に対し治療が可能であり、また同施設内の回復期病棟にて受傷前のADLにほぼ回復するまで治療を受けていただける体制を整えています

脳神経外科

Kコード	名称	患者数	平均 術前 日数	平均 術後 日数	転院 率	平均 年齢	患者 用パス
K1781	脳血管内手術（1箇所）	22	0.82	49.91	9.09	61.95	－
k178-4	経皮的脳血栓回収術	11	0.09	83.18	0	72.55	－
K164-2	慢性硬膜下血腫穿孔洗浄術	10	2.2	10.9	10	77.7	－
K164-5	内視鏡下脳内血腫除去術	10	1.6	141.4	50	66.7	－
K609-2	経皮的頸動脈ステント留置術	10	6.1	21.3	0	73.1	－

脳梗塞、脳動脈瘤、脳動静脈奇形等の脳血管異常に対して、血管内手術用カテーテルを用いて手術を行います。脳出血の血腫除去には低侵襲な内視鏡を用いることもできます。2018年はカテーテル治療73件、内視鏡治療は10件、手術総数は175件でした

形成外科

Kコード	名称	患者数	平均 術前 日数	平均 術後 日数	転院 率	平均 年齢	患者 用パス
K427	頬骨骨折靱血的整復術	—	—	—	—	—	—
K2191	眼瞼下垂症手術（眼瞼挙筋前転法）	—	—	—	—	—	—
K0052	皮膚、皮下腫瘍摘出術（露出部） （直径2cm以上4cm未満）	—	—	—	—	—	—
K0053	皮膚、皮下腫瘍摘出術（露出部） （直径4cm以上）	—	—	—	—	—	—
K0062	皮膚、皮下腫瘍摘出術（露出部以外） （直径3cm以上6cm未満）	—	—	—	—	—	—

眼科

Kコード	名称	患者数	平均 術前 日数	平均 術後 日数	転院 率	平均 年齢	患者 用パス
K2821ロ	水晶体再建術（眼内レンズを挿入する場合）（その他のもの）	41	0.51	2.12	0	74.71	—
K2801	硝子体茎頭顕微鏡下離断術（網膜付着組織を含む）	—	—	—	—	—	—
K2682	緑内障手術（流出路再建術）	—	—	—	—	—	—
K279	硝子体切除術	—	—	—	—	—	—
K2821イ	水晶体再建術（眼内レンズを挿入する場合）（縫着レンズを挿入するもの）	—	—	—	—	—	—

眼科では白内障に対する手術である水晶体再建術が大部分を占めています。次いで硝子体茎頭顕微鏡下離断術で、網膜前膜、黄斑円孔などの網膜硝子体に対する手術です。上記の白内障手術と硝子体手術を同時に行うこともあります

その他（D I C、敗血症、その他の真菌症および手術・術後の合併症の発生率）

DPC	傷病名	入院契機	症例数	発生率
130100	播種性血管内凝固症候群	同一	—	—
130100		異なる	—	—
180010	敗血症	同一	—	—
180010		異なる	—	—
180035	その他の真菌感染症	同一	—	—
180035		異なる	—	—
180040	手術・処置等の合併症	同一	—	—
180040		異なる	—	—

播種性血管内凝固症候群（DIC）は肺炎や敗血症などに合併することが多い疾患です。DICそのもので入院された患者や合併をおこしている患者は全体の1割以下となっています。敗血症や真菌感染症なども肺炎や尿路感染症などから合併することが多い疾患です。入院時すでに敗血症を発症されている患者や入院後に発症された患者も1割以下となっています